

はくば SPF 豚農場だより

第19号 発行日 令和2年5月20日 発行者 全農長野県本部 本部長 蔦田 武司 大北農業協同組合 代表理事組合長 山田 高司
北安曇郡白馬村大字北城 15917-12 TEL 0261-72-2716 <https://www.hakubanobuta.com/>



JA 全農長野



ご挨拶

日頃は、はくばSPF豚農場の運営について、多大なるご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。併せて、環境対策においては、住民の皆様を始め、関係機関の方々からのご指導を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

令和元年度は、畜産業界における豚熱の発生から、世界的な新型コロナウイルスの猛威まで、取り巻く自然環境が大きく変わってきていると認識されているところであります。臭気発生については、過去において、一定の評価があったものの、近々での臭気確認回数の増加により、住民の皆様へ、大きなご迷惑をお掛けしていることについて、事業者として深くお詫び致します。

今後も「気化ガス脱臭装置」の増設を行い、臭気軽減に努めてまいりますので、今後ともご理解を賜りたくお願い申し上げます。



発行日 令和2年5月20日

全農長野県本部 本部長 蔦田 武司
大北農業協同組合 代表理事組合長 山田 高司

1. 令和元年度の「環境対策」について

1) 農場周辺の環境調査実施状況

① 自主臭気調査の実施

(令和元年7月26日)

事業者全体で臭気問題を把握する為、理事者による巡回を実施しました。開始前に「環境技術センター 臭気判定士」による「鼻合わせ」を行い巡回しました。臭気を感じ方には個人差があるものの、住んでいる住民の方々には、十分な配慮を行うことを指摘されました。

巡回のスケジュール	時 間	巡回地域
	7:30~	事前巡回
	9:00~	農場駐車場
	9:30~	小谷村白馬大池駅前
	9:50~	小谷村坪ノ沢
	10:10~	小谷村川内周辺
	10:30~	白馬村立の間
	10:50~	白馬村東通
	11:10~	農場駐車場
	11:40~	解散

2) 環境対策の実施状況

① 気化ガス脱臭装置の能力確保

始業点検はもとより、年3回の業者によりメンテナンス、点検整備を実施しました。

② 堆肥搬出の継続

必要最低限の水分調整剤として「戻し堆肥」の確保を考慮し、調整しながら搬出を継続しました。

③ 情報の共有化

関係機関の参集もお願いし「環境ウォッチャー会議」を4回開催すると同時に、毎月「農場ニュース」を発行し、住民の皆様と情報の共有化に努めました。

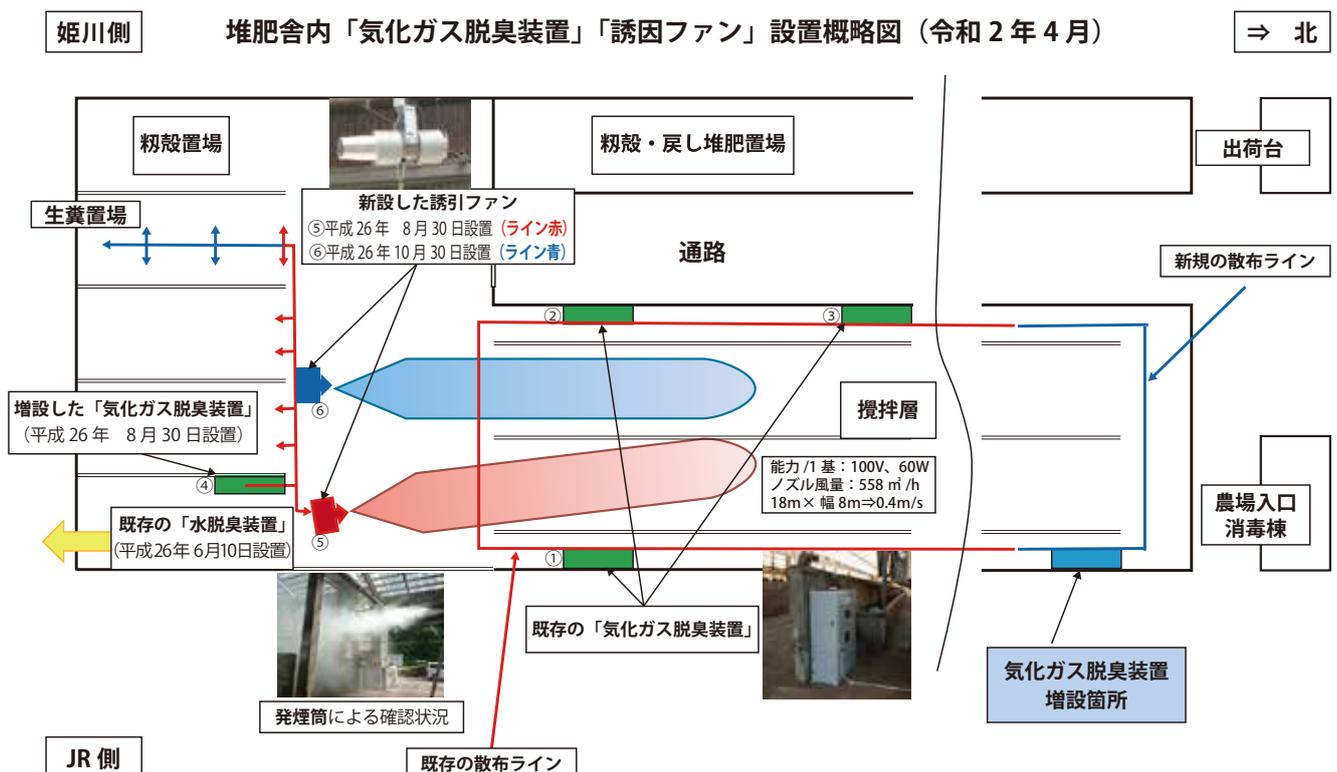


2. 今後の対応について

令和元年12月12日に、大町合同庁舎で「第1回はくばSPF豚畜産環境対策調整会議」が開催されました。各組織のトップからなる調整会議を開催するということの重みをしっかりと受け止めることを指摘され、今後の対応について、事業者から報告させていただきました。

1) 過去一定の評価が得られた「気化ガス脱臭装置」を堆肥舎内へ1台増設し、臭気軽減に寄与させることを提案させていただき、令和2年4月末までに設置しました。

設置概略図



- 2) 農場では場内清掃を行うとともに、既存の気化ガス脱臭装置、炭脱臭装置、水シャワー脱臭装置の能力を最大限に発揮させる状態を保つことで、臭気軽減に努めます。
- 3) 堆肥搬出においては、水分調整剤としての「戻し堆肥」の確保、搬出の作業体系及びスケジュール等については、臭気抑制のため最大限の配慮を行うとともに、攪拌時における臭気軽減に取り組みます。
- 4) 住民の皆様から情報提供を頂くとともに、事業者からも住民の皆様及び関係機関へ情報提供を行うことで、情報の共有化に努めます。



3. 豚熱(CSF)対応の防疫策について

- 1) 本来のSPF農場の防疫体制を堅持すると同時に、農場周囲1,430mに電気柵を設置し、加えて豚舎出入口を隔離する為の「物理フェンス」の設置を行いました。



豚舎西 姫川側の電気柵



堆肥舎西 姫川側の電気柵



豚舎周囲への侵入を防ぐフェンス 設置



豚舎への作業員出入口の防疫エリアへのフェンス設置